

令和7年度ひろしまの森づくり県民税アンケート調査業務委託仕様書

1 目的

令和4年度に4期目に入った「ひろしまの森づくり事業」は、事業実施期間を令和8年度までの5年間としていることから、4年目である令和7年度に、税の使途や令和9年度以降のあり方などに対する県民の方々の意見を把握し、今後の施策展開に反映させるため、「ひろしまの森づくりアンケート（以下「アンケート調査」という。）」を実施する。

2 アンケート調査の基本設計

(1) 設問数

ア 属性5問程度+設問13問程度（一部記述含む）

イ 属性4問程度+設問14問程度（一部記述含む）

(2) 調査地域 広島県全域

(3) 調査対象

ア 無作為抽出

(ア) 県内に居住する満18歳以上の男女個人

(イ) 広島県内に所在する企業

(4) 標本数

ア 無作為抽出（計2,500件）

(ア) 県内に居住する満18歳以上の男女個人2,000人

広島地域生活圏1,000人、備後地域生活圏600人、備北地域生活圏400人とする。

a 広島地域生活圏

広島市、呉市、竹原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町（8市7町）

b 備後地域生活圏

三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町（4市2町）

c 備北地域生活圏

三次市、庄原市（2市）

d 抽出方法 層化2段無作為抽出法

(イ) 広島県内に所在する企業500団体

市販の広島県内の企業要覧から無作為抽出する。

(5) 調査方法 郵送調査（郵送配布、郵送回収・インターネット回答）

(6) 発送・回収 調査票発送および調査票の返送に係る費用は委託料に含める。

(7) 有効回収率 60%程度（令和3年度実績：44%）

3 委託内容

アンケート調査に係る調査、集計、分析及び報告書の作成。

(1) 調査地点・対象者の抽出

抽出の方法は、委託者と協議の上決定する。

調査地点は、国勢調査時に設定された調査区を使用し、各市町から1地点以上抽出する。

対象者は、選挙人名簿により抽出する。選挙人名簿が使用できない場合は、別途協議する。

(2) 依頼状及び調査票の作成(封入作業含む)・郵送

依頼状及び調査票は、委託者と協議の上決定し作成する。原則定型郵便物(50gまで)とするが、定形郵便物で送れない場合には、定形外郵便物(100gまで)とする。

調査に使用する封筒(送付用、返送用)は受託者で用意し、封筒に印刷する事柄は委託者と協議の上決定し作成する。

(3) 調査票の回収

回答方法は郵送又はインターネットとする。

調査票の返送先は、受託者宛とする。

料金受取人払郵便及び料金後納制度を利用し、定型物郵便(50gまで)とする。

回収率は60%を想定している。

(4) アンケート回答者へのプレゼント調達、送付

アンケートの回答者から委託者が抽選して決定した50名程度に当選通知とともに賞品を送付すること。

10名分は1,000円程度の商品を調達・送付することとし、40名分は委託者が調達する賞品(オリジナル木製コースター)を送付すること。

(5) 調査結果の集計・分析

前項で回収した個人2,000人、法人500団体分の調査結果に加え、発注者が別に実施、回収する関係者アンケート(500人を想定)につき、集計・分析を実施する。

調査の概要、調査結果(設問ごとの結果、分析・評価、図表等)、数表(集計表)、単純集計結果などを取りまとめる。

(6) 調査結果報告書の作成

次の内容の報告書をPDFデータで作成する。なお、報告書の内容は委託者と協議の上決定する。

(内容)

- ・調査の概要(調査の目的、実施概要、抽出方法、対象者の特性など)
 - ・調査結果(設問ごとに集計結果、分析・評価(性別、年代別等)、図表など)
 - ・数表(集計表)
 - ・調査票と単純集計結果
- ※過去の報告書に準じた形式とすること。

4 必要物品

委託に付随して必要となる物品は、すべて受託者において負担すること。

5 提出物

(1) 調査票(1部及びデジタルデータ)

- (2) 依頼状、封筒（各 1 部）
- (3) 調査票の郵送日及び郵送数を証明するもの
- (4) 回収調査票
- (5) 調査対象名簿（管理用名簿を含む）
- (6) 集計・分析中間報告（ローデータをエクセル形式で提出すること）
- (7) 調査結果報告書（PDF データ）

6 スケジュール(予定)

- (1) 設問完成・・・・・・・・・・12月中旬
- (2) 調査票完成・・・・・・・・・・12月下旬
- (3) 調査・・・・・・・・・・1月（約30日間）
- (4) 集計・・・・・・・・・・～2月中旬
- (5) 単純集計結果提出・・・・2月下旬
- (6) 分析・・・・・・・・・・3月中旬
- (7) 報告書提出・・・・・・・・・・3月下旬